

2015年10月9日

**2016年5月期 第1四半期 決算概要**

- インソーシング（委託・請負）、アウトソーシング等、多くのセグメントで増収となり、売上高は63,891百万円（前年同期比+8.8%）
- 売上総利益はインソーシング、アウトソーシングの増収影響に加え、再就職支援事業の生産性向上で粗利率が上昇し、13,412百万円（前年同期比+17.1%）と増加
- 販管費はM&Aや規模拡大等の影響で13,061百万円（前年同期比+17.4%）と増加したが営業利益は350百万円（前年同期比+9.5%）と増益
- 経常利益は持分法適用会社の投資損失が増加し256百万円（前年同期比△10.2%）、親会社株主に帰属する四半期純損失も△323百万円と減益

※前第1四半期は連結納税移行に伴い対象子会社が決算期を3月から5月に変更。一部子会社が5ヶ月の業績計上

**1. 第1四半期連結業績**（2015年6月1日～8月31日）

（百万円）

	2015年5月期	2016年5月期	増減	増減率
<b>売上高</b>	58,727	<b>63,891</b>	+5,164	+8.8%
売上総利益 (売上比)	11,450 19.5%	<b>13,412</b> <b>21.0%</b>	+1,962 +1.5pt	+17.1%
販売費及び一般管理費 (売上比)	11,130 19.0%	<b>13,061</b> <b>20.4%</b>	+1,931 +1.4pt	+17.4%
<b>営業利益</b> (売上比)	320 0.5%	<b>350</b> <b>0.5%</b>	+30 +0.0pt	+9.5%
<b>経常利益</b> (売上比)	286 0.5%	<b>256</b> <b>0.4%</b>	△29 △0.1pt	△10.2%
税金等調整前四半期純利益 (売上比)	272 0.5%	<b>258</b> <b>0.4%</b>	△13 △0.1pt	△5.1%
親会社株主に帰属する四半期純損失 (売上比)	△253 -	<b>△323</b> -	△70 -	-
<b>1株当たり四半期純損失</b>	△6円87銭	<b>△8円79銭</b>	△1円92銭	-

**2. セグメント別連結業績**（セグメント間取引消去前）

（百万円）

	売上高	前年同期比	営業損益	前年同期比
HRソリューション	63,074	+10.1%	1,761	+27.6%
エキスパートサービス(人材派遣) インソーシング(委託・請負)他	53,070	+8.2%	325	△31.1%
エキスパートサービス(人材派遣)	33,221	△5.7%	325	△31.1%
インソーシング(委託・請負)	16,925	+48.8%		
HRコンサルティング、教育・研修他	1,504	+10.9%		
グローバルソーシング(海外人材サービス)	1,420	+30.4%		
キャリアソリューション(人材紹介、再就職支援)	4,032	+19.1%	794	+137.1%
アウトソーシング	5,971	+23.1%	641	+12.0%
ライフソリューション パブリックソリューション	1,342	△30.3%	△192	-
消去又は全社	△524	-	△1,218	-
<b>合計</b>	<b>63,891</b>	<b>+8.8%</b>	<b>350</b>	<b>+9.5%</b>

※当期よりセグメント区分を変更。2015年5月期は変更後のセグメント区分に組み替えた数値を記載。増減率は組み換え後の数値と比較

## ●セグメント別業績

※( )内は前年同期比

※当期よりセグメント区分を変更。前年同期比については、2015年5月期の数値変更後のセグメント区分に組み替えた数値と比較

### HRソリューション

#### エキスパートサービス(人材派遣)、インソーシング(委託・請負)他

売上高 53,070 百万円(+8.2%) 営業利益 325 百万円(△31.1%)

##### [エキスパートサービス]

売上高 33,221 百万円(△5.7%)

- 幅広い業界で受注が増加し、稼働者数も増加
- 派遣スタッフの育成プログラムを開発し、キャリアチェンジやキャリアアップを支援するほか、有資格カウンセラーの育成に注力し、キャリアコンサルティングを通じて派遣スタッフのバックアップを強化
- 外部企業との協業によるインフラ構築等にも積極的に取り組み、クラウド技術を活用した在宅ワーク型派遣を推進するなど、新しい働き方も提案
- 育成型派遣に注力している金融、経理、貿易などのテクニカル分野が順調に伸長
- 前期の決算期変更による5ヶ月分の業績計上影響を除くと、実質ベースで微増

##### [インソーシング]

売上高 16,925 百万円(+48.8%)

- 顧客内で横展開が引き続き増加。提案力の向上で新規顧客の開拓進む
- パブリック分野では、保育事務などの案件が拡大。行政事務代行もさらに増加
- 2015年4月に連結子会社化したパソナ・パナソニック ビジネスサービス(株)(旧パナソニック ビジネスサービス株式会社)、同社子会社の新日本工業(株)の総務事務アウトソーシング事業が、当四半期から業績に寄与
- ノウハウの積み上げとグループ横断的なサービス体制が奏功して BPO(ビジネスプロセス・アウトソーシング)案件の規模拡張が進む

##### [HRコンサルティング、教育・研修他]

売上高 1,504 百万円(+10.9%)

- キャプラン(株)が導入・コンサルティングを実施しているタレントマネジメントシステム(サクセスファクターズ)<sup>※</sup>が大型案件の受注や既存顧客において対象者や利用メニューを広げる
- 訪日外国人の増加に伴い、キャプラン(株)が運営する「J プレゼンスアカデミー」では、インバウンド(外国人旅行者)に対応する接客などが伸長

※従業員のスキル・経験等の可視化と評価の一元管理を可能にして企業の人材活用・育成を支援する SAP グループの人材管理システム

##### [グローバルソーシング(海外人材サービス)]

売上高 1,420 百万円(+30.4%)

- 北米や ASEAN への日系企業の進出が引き続き増加し、人材需要は堅調に推移。人材紹介は北米をはじめ多くの地域で成約が増加。エグゼクティブサーチ案件も伸長
- 人材派遣も北米やインドなどで稼働者数の増加や時給の上昇が見られ、アウトソーシングは給与計算代行や BPO を活用する顧客が増加
- 2015年7月には自動車・エネルギー産業の集積が進んでいる米国南部に Pasona NA, Inc.の「ダラス支店」を開設
- ベトナムでは、Pasona Tech Vietnam Co., Ltd.が日系独資の人材サービス会社として初の労働派遣ライセンスを取得し、10月から人材派遣事業を開始

以上の4事業から構成されるセグメントの売上高は増収。インソーシングの増収等により売上総利益増加。一方、案件の端境期のため一時的にコストが増加し、営業利益は325百万円(前年同期比△31.1%)と減益

#### キャリアソリューション(人材紹介、再就職支援)

売上高 4,032 百万円(+19.1%) 営業利益 794 百万円(+137.1%)

- 人材紹介は、メーカーの管理職層などの成約好調。女性の管理職候補人材の成約も増加
- 利用者の満足度向上を目指す継続的な取り組みにより口コミで登録者増加。コンサルタントの定着率が高水準で推移していることも好循環につながり順調に伸長
- 再就職支援は、企業の雇用調整も一部底打ちが見られており着実に受注に結びつけた。コンサルタント1人当たりの生産性も高め、再就職決定の早期化を進めた

## アウトソーシング

売上高 5,971 百万円 (+23.1%) 営業利益 641 百万円 (+12.0%)

- 主力の福利厚生事業は、提案営業を積極的に行い、中堅・中小企業の開拓にも注力し、会員数順調に増加
- 取引先と協働で個人顧客向けサービスを展開するパーソナル事業も会員数順調に増加
- 報奨金等をポイント化して管理・運営するインセンティブ事業も堅調に推移

## ライフソリューション、パブリックソリューション

売上高 1,342 百万円 (△30.3%) 営業損失 △192 百万円 (前年同期は営業損失△58 百万円)

- 政府の待機児童解消や女性活躍推進に向けた施策が追い風となり、保育関連事業の(株)パソナフォスターは保育施設の新規受託や学童クラブの運営増加
- 前年同期に5ヶ月分の業績を計上していたことから減収だが、実質的には増収
- 地方活性化事業の立ち上げに伴う初期投資を一部前倒しで実施

## 消去又は全社

売上高 △524 百万円 営業利益 △1,218 百万円

- グループ間取引と、持株会社(株)パソナグループの販管費含む
- グループシェアード機能の強化を図り、前年同期に「シェアード」セグメントに含めていたIT部門を持株会社に集約したほか、経理、給与計算などのシェアードサービスも推進

## 3. 財政の状況

(百万円)

	2015年5月期 期末	2016年5月期 1Q末	前期末比		増減要因
			増減	増減率	
流動資産	58,129	52,282	△5,847	△10.1%	現金及び預金の減少 4,086 百万円、 受取手形及び売掛金の減少 1,982 百万円等
固定資産	30,512	29,868	△644	△2.1%	
資産合計	88,641	82,150	△6,491	△7.3%	
流動負債	46,267	39,647	△6,620	△14.3%	買掛金の減少 2,407 百万円、長期借入金 の増加 2,045 百万円、未払消費税の 減少 2,429 百万円、未払法人税等の減 少 850 百万円、賞与引当金の減少 563 百万円等
固定負債	12,753	14,882	+2,128	+16.7%	
負債合計	59,021	54,530	△4,491	△7.6%	
純資産合計	29,620	27,620	△1,999	△6.8%	親会社株主に帰属する四半期純損失 323 百万円、資本剰余金の減少 411 百万円、配当金の支払 441 百万円、 非支配株主持分の減少 803 百万円等
自己資本比率	24.1%	24.5%	+0.4pt		

## 4. 2016年5月期(2015年6月1日～2016年5月31日) 連結業績予想

当四半期の業績は概ね計画通りに推移していることから、2015年7月15日に公表した業績予想を据え置きます。

(百万円)

	通期	前期比	上期	前年同期比	上期進捗率	下期	前年同期比
売上高	268,000	+18.5%	129,000	+13.4%	49.5%	139,000	+23.6%
営業利益	4,700	+34.7%	1,300	+8.7%	27.0%	3,400	+48.2%
経常利益	4,600	+37.6%	1,230	+9.9%	20.9%	3,370	+51.5%
親会社株主に帰属 する当期純利益	750	+250.2%	△300	—	—	1,050	+184.1%

四半期ごとの連結業績およびセグメント別業績データは<http://www.pasonagroup.co.jp/ir/data/quarter.html>に掲載します。

本資料記載の将来に関する記述の部分は資料作成時において当社が各種情報により判断した将来情報であり、その内容を当社として保証するものではありません。予想数字等は今後の経済情勢、市場動向等の変化による不確実性を含有しております。本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行う際は、投資家ご自身の判断で行っていただきますようお願いいたします。